

特集 障害者 就労支援 × カフェ

カフェから始まった 障害のあるかたへの就労支援のカタチ

木々の緑に溶け込んだパークサイドカフェ、グリーンカフェ西郷山。ここは、NPO法人目黒障害者就労支援センターが区の委託を受けて運営している、障害者就労支援施設の一つです。旧山手通り沿いの西郷山公園入り口にあり、公園に遊びにきた親子連れやペットの散歩がてらに立ち寄るかた、昼時は周辺企業に勤める会社員なども来店する、地域に親しまれているカフェです。

ここはもともと、公園の管理事務所だった場所。その建物を、そっくりそのままカフェに造り替えました。障害のあるかたが就労に向けた実習を行うカフェとして、たくさんの人から応援され、愛されながら、今年で20年目になりました。

一見、どこにでもあるまちのカフェに見えますが、店内には障害のあるかたの就労訓練施設であることを知らせる看板や働く姿を写した写真が飾られています。ここでの取り組みを知る利用客も多く、カフェを舞台に、地域住民やお客さんからさまざまな支援を受け、交流を続けながら、障害者就労支援の新しいカタチが日々育まれています。

図障害施策推進課計画推進係 ☎5722-9848、☎5722-6849

グリーンカフェ西郷山

青葉台2-10-7 西郷山公園内
☎5728-6717、☎5728-8677
営業時間 8:30~19:00



- 甘いながら、隠し味にさんしょうを利かせた、香り豊かな名物のキーマカレー(900円)。十五穀米で、自家製ビクルスが添えられている
- 石臼でひいた国産そば粉のそばは、20年続く看板メニュー。これが目当ての常連客も多い。鶏つけ汁そばとミニ丼のセット(1,200円)
- このカフェが、障害者の就労支援施設を兼ねていることを知らせる看板
- 朝は8:30に開店。出勤前に立ち寄る利用客も多い
- 壁一面に飾られた障害のあるかたが働く姿を写した写真は、生き生きとした笑顔が印象的
- 夕暮れ時はライトアップも。この照明は常連のかたによる寄附で設置された



憩いの場として 支援の場として ここにあり続けて いることが大切

実習生は、就労を目指す、区内在住の障害のあるかたで、テーブルセッティングや皿



グリーンカフェ西郷山店長
勝俣智之さん

洗い、清掃などのカフェの仕事を体験してもらいます。期間は3~14日間で、実習生の状況を見ながらケースバイケースで進めます。最初は戸惑う様子があっても、だんだんできるようになると自信がつき、やる気も出て、積極的に仕事をしてくださるかたが多いです。

私を含めスタッフ全員が指導員として訓練に関わりますが、特に気をつけているのは、声掛けです。いろいろな場面で細かく声を掛けることで、コミュニケーションが取れ、理解し、安心してもらえるようです。実習生に「頑張ってね」と優しく声を掛けてくださる常連さんもいて、いつも感謝しています。

私は、オープン翌年から働き始め、今年で19年目になります。カフェが変わらずここにあることで、小さな子どもだったお客さまが大人になって「まだあったんだ」と来店されたり、実習生だったかたが就職の報告に来てくれたりするなど、やりがいと喜びを感じています。

カフェの運営経費は売り上げで賄うため、コロナ禍で大変な状況ですが、テイクアウトや朝8時30分からの開店、定休日をなくすなど、スタッフみんなで頑張っています。これからも、お客さまがくつろげて、障害のあるかたが楽しさを感じながら訓練できるカフェをつくっていききたいと思います。

高校生になって就職を考えた時に、 カフェの仕事をしてみたいと思いました

ここには小さな頃からよく来ていたので、実習させてもらえてうれしかったです。楽しかったのは食器洗いです。最初さっと洗って、機械(食器洗い機)に入れるのですが、大きな食器はすごく大変でした。でも、きれいになるのが楽しかったです。それから、コーヒーをいれてみたかったので、教えてもらったのがいい経験になりました。



今年の夏休みに
カフェ実習を体験した
谷口舞さん(高校2年生)



2週間の経験が自信に つながるいい機会でした

グリーンカフェは家の近所で、家族にとってもなじみの店だったということもあり、安心してお任せできると思いました。それでも最初は心配で送り迎えをしていたのですが、3日目から「行って来ます」と言って、1人で通い始めたときは驚きました。毎日仕事へ行くということを経験できたのも、良かったと思っています。



谷口直行さん(父)



谷口勝子さん(母)

障害者の就労支援には、福祉施設や企業での仕事体験などさまざまなありますが、一般のお店で2週間も仕事体験ができるというのは珍しく、親にとっても本人の適性や習得具合を判断できるいい機会をいただいたと感謝しています。日がたつにつれ、経験が自信になったようで、「テーブルを出したよ」「コーヒーをいれたよ」などと、自慢げに話してくれました。毎日、楽しそうに通っていたのが印象的でした。



障害のあるかたの働きたいという 気持ちと企業をつなぎたい

カフェができる前の平成12年当時、一般企業などへの就労は身体障害のあるかたがほとんどで、知的障害のあるかたは福祉施設での作業といった働き方が一般的でした。しかし、知的障害のあるかたの関係者から、企業に就労するための支援への要望が以前からあったこともあり、目黒障害者就労支援センターが区の委託を受けて、移設が決まった西郷山公園管理事務所を利用して事業をスタートすることになりました。

立場所の有効利用からカフェという案があがり、検討を重ねた結果、一般のかたが利用するカフェで障害のあるかたが就労訓練するという、当時では珍しい事業形態で始めることになりました。しかし店舗運営は全くの未経験で、まさに一からのスタートでしたが、建築関係のかたや経営コンサルタントのかたなど、さまざまなかたの無償の協力があってオープンしたのが、このお店です。

一般のお客さまが利用するカフェで、障害のあるかたが自然に働いている。多様性を認め合う社会の一つの理想が、ここにあるように思います。地域のかたが温かく見守ってくださり、自然に接して支援していただいていることに本当に、感謝しています。

目黒障害者就労支援センターは、働く意欲がある障害のあるかたと企業を結びお手伝いをさせていただいています。個別相談などもありますので、ぜひお問い合わせください。



NPO法人目黒障害者就労支援
センター長
岩原あゆみさん

NPO法人目黒障害者就労支援センター

中央町2-32-5 スマイルプラザ中央町内
☎5794-8180(月~金曜日9:00~18:00)、☎5794-8225、
✉meguro-s@01.246.ne.jp



▲同センター

個別相談会を開催します

☎11/25(木)~12/3(金)10:00~11:30
(11/28を除く)
☎目黒障害者就労支援センター
☎就労に関する相談、実習紹介、事務体験ほか
☎各1組(上記の日程以外も応相談)

☎電話、FAX・Eメール
(住所、氏名、電話・
FAX、希望日を記入)
で、同センターへ

障害の有無にかかわらず、 違いを認め合うやさしい社会に

わたしたちの周りには、性別、国籍、年齢、価値観など、あらゆる違いを持ったさまざまな人が暮らしています。障害の有無も、そうした違いの一つにすぎません。互いがそれぞれの違いを認め合う、多様性の大切さが注目されています。

しかし、現実には無理解による偏見や無意識の差別、段差等の物質的な障害など、さまざまな障壁が存在しています。そうした障壁をなくすため、障害者差別解消法では、障害を理由にした不当な差別の禁止や、社会的障壁をなくするための合理的配慮の提供義務を定めています。また、誰もが障害の有無にかかわらず相互に理解と交流を図り、障害のあるかたがあらゆる分野で積極的に参加できる社会を目指すことを目的に、毎年12/3~9を障害者週間としています。

障害の有無だけでなく、高齢者や子どもなど、どんな人にもやさしい社会は、誰にとっても生きやすい社会です。私たち一人ひとりが周囲の人に関心を持ち、自分には何ができるのかを考え、小さなことからでも行動してみませんか。

障害者週間記念パネル展

区内の障害者福祉施設利用者が制作した作品などを展示します。

☎11/27(土)8:00
~12/3(金)15:00

☎総合庁舎本館1階西口ロビー

障害のあるアーティストによる作品展も

ぜひご覧ください(詳細は6面へ)